

市民環境大学OB会 ニュースレター



第14号 2017年5月18日 発行 日野市環境拠点“かわせみハウス”完成

OB会による谷仲山での湧水測定まとまる！

OB会では日野市の湧水を守る活動の一環として、昨年夏からかわせみ館近くの谷仲山での湧水量測定を開始しました。今年4月、拠点であるかわせみ館が黒川湧水公園に隣接する“かわせみハウス”に移転したことから、一旦今までの測定結果をまとめてみることにになりました。この測定に最初から参加されている坂井さんに以下報告いただきました。

投稿

谷仲山の湧水測定

坂井 京子

湧水の測定をすることになり、かわせみ館に近く、市のデータと比較できるところがよいとされ谷仲山に決定。市設置の三角堰から流れ出る水の他に脇からの湧水も合わせて計るためにトイを据え付け、回りから水が逃げないようにちょっとした土木工事を施す。

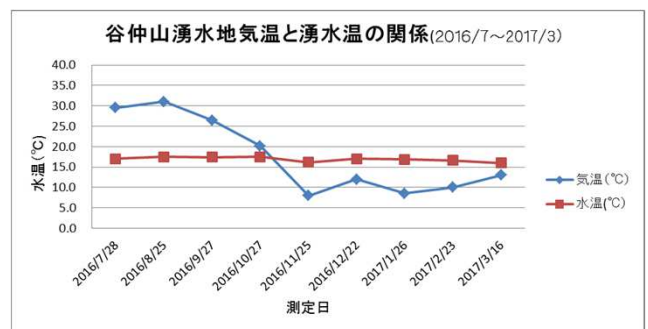
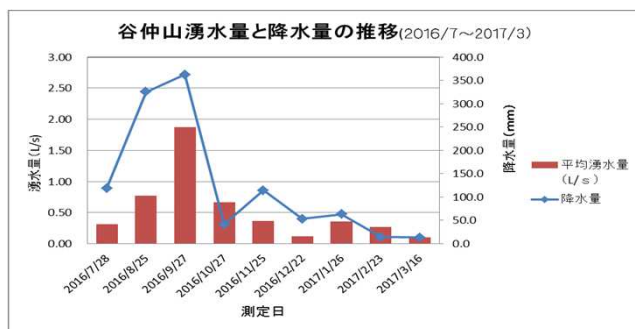
トイの先にビニール袋をあてて、10秒間水を集め、その重さをはかる。でこぼこの地面の上では計測できないので、材木を拾って来てその上に計量器を載せ、水の入った袋をバケツに入れ、メモリを読む。もちろんバケツ、袋の重さは予め除しておく。こうして12回の内の10回の平均を出す。他にCOD、電気伝導度、気温、廻りの様子等も記録。

3月までで9回の測定が終了したので湧水量の平均値の推移をグラフにしてみました。また湧水量の変化の原因を探るため、関係が深いと思われる測定前1か月間の降水量(八王子アメダスのデータ)との関係もみてみました。さらに湧水の水温と気温との関係も参考までにグラフ化してみました。グラフから見えることを簡単にまとめると以下ようになります。

- ①湧水量は9月が最も多く1秒間に2Lも湧き出ているが、12月には0.1Lと大きく減少した。
- ②湧水量と降水量はかなり関係が深く(相関係数は0.8)、ほぼ連動している。
- ③湧水の水温は予想通り非常に安定しており、気温に関係なくほぼ17℃前後である。

測定作業は参加者全員が工夫しながら気持ちを合わせて連携プレーを行う。そのお陰でスムーズに作業でき、ワクワク感に包まれ、気持ちは少年少女です。絶対に若返れます。ですから多くの方に体験して頂きたいです。

まだ測定を開始して1年弱のため、データも十分ではありません。しかし、日野市の湧水が将来にわたってずっと湧き出るために役に立つと信じて、ささやかな歩みですが続けていきたいです。



湧水測定みんなで記念撮影 2016年8月



湧水測定風景 2016年12月

湧水測定参加者

飯島利三 河原鋒男
田中 徹 原田武司
野上圭子 坂井京子
立川絹代 中島 孝
大山末子 井手 了
戸川二美子
佐藤充子

順不同